

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年11月6日 第65号
文責：江頭 俊輔

[2025 年最後のテスト！2 学期期末考査直前です！準備はできていますか？]

11 月 6 日（木）、7 日（金）に予定されている 2 学期期末考査まで、あと少しとなりました。準備はできていますか？なんと、2025 年最後の定期考査になります。あっという間の 2025 年でしたね。最後のテストだからこそ、『いい努力』から生まれる『いい結果』で締めくくりたいものです。まだ間に合います。しっかりと学習して、2 学期の期末考査に臨みましょう！

[もう一度見直そう！試験中の姿勢・態度は正しいですか？]

さて、私は 10 月 29 日（水）に行われた学力分析テストの試験監督をしていて、気になったことがあります。「自分が解ける問題が終わったから、試験問題を閉じる」人が 2 年生の中にいました。（1 年生の頃は最後まで「分からなくても」なんとかして答えを書こうと必死だった姿を覚えているので、とても残念です。）おそらく、「自分が解けるか、解けないか」ということしか考えていないのだと思います。

あと 1 年後に迫った「高校入試」について、少しずつ意識を向ける必要があります。高校入試では、面接が試験科目にない高校もあります。そういった高校の先生が試験監督として見ているのは、言うまでもなく、みなさんの試験中の姿勢・態度です。いわゆる「終日面接」というものです。

簡単にイメージできると思いますが、「試験中に寝る」は問答無用に不合格になることが多いです。おそらく試験中に寝る生徒は「面接されている」という感覚が「中学校生活中のテスト」から、なかったのだと思います。私の感覚でいうと「試験中に寝る」と「試験中に問題用紙を閉じる」はほぼほぼ同じ意味をもちます。どちらも「試験に真剣に取り組んでいない姿勢・態度だから」です。

「そんな高校入試本番はちゃんとするに決まってる！」という声が聞こえてきそうです。ただ、人間の習慣とはとてもおそろしく、日常的に「できない」ことは、本番も「できない」可能性がとても高いです。実際に意識することはとてもシンプルです。大切なことはいつも単純明快です。

解き終わったら、時間が終わるまで見直す

小学校時代から教えていただいていたことそのままです。姿勢を正し、問題に向き合しましょう。

[中学校生活も後半戦！「最後の」がつく生活をしっかりと味わおう！]

中学校生活も後半戦が始まりました。多くの行事に「最後の」がつく時期になっています。最後の行事を「最後」だと思って取り組むのか、そう思わずに取り組むかでは、味わう感動が違っていると考えています。先日、2 年 3 組の教卓に置いてある「サラダ記念日/俵万智」をめくっていました。菊池先生と俵万智さんの句について職員室で話している中で、「あの句いいよね～」と共感した句を紹介します。

最後とは知らぬ最後が過ぎていく その連続と思う子育て

[引用：俵万智『未来のサイズ』（角川書店）]

子育て中の俵さんが詠んだこの句からは「はじめての」と「最後の」から感じる高揚感と寂しさが受け取れます。「初めて歩いた！日」は「最後にハイハイした日」の裏返しです。でも「最後かもしれない」と思っていると、いつもの「ハイハイ」も見方が変わるのではないのでしょうか。みなさんも「最後とは知らぬ最後」にならぬよう、「最後を味わえる」ように日常の生活に心をこめて臨んでいきましょう。